

専攻科目

1年

2年

3年

4年

必修科目

選択必修科目

共通教養科目

FYS・外国語科目・教養系

科目・キャリア形成科目

1年	2年	3年	4年
数学・物理学の基礎			
解析I 線形代数I	力学I 電磁気学I	量子力学I 熱・統計力学I	卒業研究I・II 輪講I・II
実験		物理学実験I	物理学実験II
物理の基本的概念、技法			
物理学概論I 物理学概論II 物理数学I	物理学演習I 基礎物理学実験法 物理学演習II	力学II 電磁気学II 物理学演習III 力学III 電磁気学III 物理数学II	量子力学II 熱・統計力学II 物理学演習IV 計算物理学I
物理の諸分野		量子力学III 熱・統計力学III 計算物理学II	物性物理学 原子核・素粒子物理学 相対性理論・宇宙論
数学の基本的概念、技法			
解析I演習 線形代数I演習	解析II+演習 線形代数II+演習	解析III+演習 線形代数III+演習 代数学I	複素関数論I 代数学II
確率と統計、数学の応用		微分方程式I 確率論I 数値解析	微分方程式II 確率過程論 数理統計学 数理統計学応用
情報処理入門I	情報処理入門II		
選択科目			
情報系科目の基礎		離散数学I・II	

総合的実践力：個別のテーマを設定して研究、実験を進めることで学んだ知識の理解を深めるとともに実際の問題を解決できるようになる。

物理と数学の基礎を身に付ける。

物理の基本を実験を通じてを身につける。

物理の4本の柱(力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学)の基本的概念や技法を講義、演習、実験を通して修得する。

物理の基本的技法を身に付けた後、素粒子、宇宙、物性にわたる広範な対象に対していかに物理が有効であるか学ぶ。

数学の基本的分野である解析と線形代数を中心に、物理学への応用にとどまらず、純粋数学も学ぶ。

確率論および統計学の理論体系の基礎を習得する。現実の問題に対して数理的に分析し、解決する能力を身につける。

離散数学の基本と情報の基礎について修得する。

人間、社会、自然に対する広い視野と、数理・物理に対する多面的な素養 ※1

基盤科学技術社会に遍在する諸問題を数学あるいは物理学の視点から発見し解決するための能力 ※2

社会人の基礎能力としてのコミュニケーション能力 ※3



※1～3 理学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応